認知症高齢者等見守りシール交付事業

どこシル伝言板®をご存じですか

市では、認知症徘徊（はいかい）対策のため、認知症高齢者等見守りシール交付事業「どこシル伝言板®」に取り組んでいます。今回は、本事業の内容や私たちにできることについて紹介します。

◎問い合わせ　いきいき長寿課　☎23-3184

「どこシル伝言板®」とは

認知症の人などが行方不明になったときに、衣類などに貼ってあるシールのQRを発見者が読み取ると、家族などに通知が送られ、早期の帰宅につながる仕組みです。

市では、徘徊により行方不明になる恐れがある人を対象に、QR付きの見守りシールを交付しています。

見守りシールイメージ

◉**交付対象者**

市内に在宅で生活し、徘徊により行方不明となる恐れがある人で、次のいずれかに該当する人

・65歳以上である

・認知症と診断されている　など

◉**申請できる人**

対象者を介護している人のうち、次のいずれかに該当する人

・対象者と同居している親族

・対象者と別居している親族で、市内に住所がある

・対象者を支援している介護支援専門員または地域包括支援センター職員　など

交付決定後に、見守りシール50枚を申請者に渡します。

※初回に限り無料

シールを貼付している人を見かけたときは

①近付きすぎず、さりげなく見守ります

②困っている様子があれば、本人の視界に入る位置から「ゆっくり」「はっきり」優しい口調で声を掛けます。目線の高さを合わせることを意識しましょう

③相手の話を急かさずによく聞き、望んでいることなどを推測・確認します

④見守りシールのQRを読み取り、家族などと連絡を取り合います

⑤個人での対応が難しい場合は、警察に連絡します。その際は見守りシールの存在を伝えましょう

「学びたい！働きたい！」

子どもたちの進学・就労を支援します

ふるさと育成協議会では、中学校卒業者などの高校進学や就労を支援しています。今回は、この支援内容などを紹介します。

◎問い合わせ　総合政策課　☎23-7161

ふるさと育成協議会とは

家庭の事情などにより、進学や就職が難しい子どもたちを支援する「ふるさと育成協議会」。子どもたちに働きながら学ぶ機会を提供するため、平成29年1月に発足しました。同協議会には現在19社が参加していて、市内企業を中心に、建設業や製造業、小売業、サービス業などさまざまな民間企業で構成されています。

事務局は創宮株式会社（山之口町）にあり、子どもたちと企業をつなぐ橋渡しの役割を担っていて、これまでに、支援を受けた8人が修了しました。

また、同協議会は、就労のみを希望する子どもたちに社会人としての知識やマナーを学ぶ機会を提供するなど、さらなる支援の強化を図っています。

支援内容

【進学支援コース】

地元企業で働きながら高校に進学し、卒業後の進路は勤務継続や他社就職などを選択できます。

・定時制・通信制高校の学費を企業が負担（年額2万円程度）

・協議会共通の就業規則・条件で正社員として雇用し、社会人としてのマナーを教育しながら、規則正しい環境の中で進学・就職を支援

◉**就業時間**　8時～16時

※土・日曜日、祝日は完全休日

◉**給与**　13万8千円～（社会保険料含む）　※9月1日現在の給与額

【就職支援コース】

各企業で正社員として働き、社会人としてのマナーを学びながら、高等学校卒業程度認定試験などに挑戦します。

◉**就業時間**　1日8時間

※各企業の就業規則に準じる

◉**給与**　15万7千円～（社会保険料含む）　※9月1日現在の給与額

◉**対象**　16～19歳

採用までの流れ

事務局と1次面接を行い、支援が決定されます。その後、企業を訪問・見学し、希望する企業で2次面接を行い、採用の有無が判断されます。

相談窓口

これまで100件以上の相談を受け付けています。電話相談のほか、同協議会のホームページからも相談できます。

◉**問い合わせ**

ふるさと育成協議会事務局（創宮株式会社内）☎57-2172

事務局専用ダイヤル

☎090-4582-8022

※月～金曜日（祝日除く）の8時～17時

参加企業募集中！

本事業では、子どもたちに働く場を提供し、進学を支援する地元企業が重要な役割を担っています。同協議会では、仕事や学業に励む子どもたちを支援いただける企業を募集しています。ぜひ問い合わせください。

問ふるさと育成協議会事務局（創宮株式会社内）

☎57-2172